

高雄だより 臨時号

後期学校評価のまとめ

公開URL <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/data/111300/>
モバイルURL <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index-i.php?id=111300>

平成 28 年 3 月 18 日
京都市立高雄小学校
校長 出口 信行

学校教育目標 「心豊かに自ら学び 無限の可能性を拓く たくましい子ども」 はじめに

12 月の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。子ども達へのアンケート・保護者の皆様へのアンケート・教職員へのアンケートをもとに、私たちの取組や子育てについて考えてみました。今回は、特に前期と比べて変化のあったことについてまとめてみました。

確かな学力 <低学年アンケートより>

	質問項目 (以下の表について、同様の見方を するようにしてください。)	上段 後期アンケート結果 下段 前期アンケート結果			
		よくできて いる	だいたい できている	あまり できていない	できて いない
A	わたしは、わからないことが あったら、おうちのひとに たずねている。	88.9% 72.5%	5.6% 11.8%	3.7% 5.9%	1.9% 9.8%
B	わたしは、あしたの がっこうのじゅんぴを、 まえのひにしている。	85.2% 80.4%	5.6% 7.8%	3.7% 3.9%	5.6% 9.8%

授業で学んだことを繰り返し練習するスキル学習や、発展的に調べたり新たな問題解決に乗り出したりする学習も必要です。学校は、帯タイムなどの時間を使って、そのような学習に取り組んでいます。今後、家庭での学習がより一層求められます。後期の低学年アンケートではうれしい結果が得られました。上の表 A からは、子ども達の家庭での学習の様子がうかがえます。また、B の結果からは、自分にできることは自分でしようとする様子が見えます。明日どんな学習をするのかはっきりわかって、必要なものを自分で用意することは、子どもが安心して学習することにつながりますね。

<保護者アンケートより>

C	わが子は、家族に言われる前に、 進んで宿題をしている。	20.9%	52.7%	20.6%	5.7%
		16.0%	54.5%	22.5%	7.0%

保護者の皆さんからいただいたアンケート C の結果から考えると、前期に比べて、自分から進んで学習に取り組めるようになったという感想をお持ちの方が増えていることが読み取れます。

自学自習の習慣は、中学校に行っても良い習慣につながります。自分の願いを達成するためには、計画を立てて自分なりの学習方法で学習を進めていかなければなりません。最初は、少しずつ自分の力で学習することから始めましょう。担任は、学習予定表を工夫して子ども達が自主的に「自分に必

要な学習」「自分が取り組みたい学習」に取り組むことができるよう働きかけています。また、放課後まなび教室や土曜学習の場を使って自学自習の習慣をつけられるようにも取り組んでいます。参加している子ども達は、それぞれに学習の楽しさを知り、自分の力を伸ばしていく喜びを感じているようです。子ども達の学習習慣を確立していくために、学校と保護者が手をつなぎ合って進めていくことがとても大切です。

豊かな心

子ども達にとって学校は豊かな心を育てていく場でもあります。D のアンケート結果では、保護者の皆さんが前期に比べて楽しく学校に通っている様子が増えたと実感してくださっていることをうれしく思います。

<高学年アンケートより>

E	わたしは、友達とよく話を している。	85.2%	14.8%	0.0%	0.0%
		73.5%	23.5%	2.9%	

高学年アンケートからも、E のように、友達と楽しく過ごしている様子が見えます。高雄小学

校はすべての学年が単級で、高雄中学校と一小一中の関係にあります。子ども同士の良好な人間関係を築くことは大切にしなければならないことです。私たち大人が、もっと子ども一人一人の良い面、頑張っているところを見つけ出し、タイミングを逃さずほめていくようにしたいですね。大人が子どものよさを認めると、周りの子ども達もその子の良いところを見つけ出していきようになります。子ども達の人間関係は、私たち大人の言動に影響されます。私たちの何気ない一言、振り返って考えてみませんか。

健やかな体

F のアンケート結果からは、高雄の交通事情から、子ども達が安全に配慮しながら生活し、その傾向がさらに強くなったように思われます。先日行われた交通安全感謝の会で、交通安全ボランティアの中川さんや PTA 地域委員さんに手作りのプレゼントを渡している様子が見られ、子ども達に感謝の気持ちが育っていることがわかりました。

少し気になるのが G のアンケート結果です。高雄小学校では、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に子ども達が「自分で健康を守る子」に育つよう働きかけてきましたが、今回のアンケートでは、前期に比べて、朝ごはんを食べてこない子ども達が多くなっています。朝ごはんは学習のエネルギーの源であることを考えると、もう一度考え直さなければならないところです。

<高学年アンケートより>

F	わたしは、家の外で過ごすとき、 安全に気をつけている。	72.1%	23.0%	4.9%	0.0%
		57.1%	34.3%	8.6%	
G	わたしは、朝ごはんを食べてから、 学校に行っている。	88.3%	5.0%	6.7%	0.0%
		94.1%	4.4%	0%	

〈教職員アンケートより〉

教職員の様子

教職員のアンケートから、教職員が「組織的な集団」へと意識が変わりつつあることがわかります。小学校では、学級担任制を実施

H	学級経営や授業の悩みがあったら、進んで相談したり、研修会に参加したりして、よりよく解決していこうと努めている。	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%
		22.2%	44.4%	33.3%	
I	定例の家庭訪問だけでなく、必要に応じて家庭訪問するなど、家庭との連携を深めている。	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%
		22.2%	33.3%	44.4%	
J	学年部会や研修・学校行事をPDCAサイクルで進めている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%
		11.1%	66.7%	22.2%	

していますが、学級の子供達のをすべてをとらえようとするあまり、学級で起こった問題を学級担任が一人で抱え込み、好ましい解決ができなかつたりすることがあります。中学校では、教科によって授業を担当する教師が替わります。複数の教師で子供達の様子を見ているため、様々な角度から子供達の暮らしも学習の様子も見ることが出来ます。両方のよさを生かし、みんなで子供達を育てたいところです。授業を交換する取り組みも行っています。担任だけでなく、他学年担任や教務主任・管理職が授業することで、子供達の新たな面が見えたり、担任が気付かなかった良い面が見えてきたりします。それが子供達をさらに大きく育てていくことにつながると考えています。

自由記述欄より

放課後も遊べるようになったので、朝の登校をもう少しだけ遅めにしてもらいたい。他の班より早くいくように競い合って、集合時間がすごく早くなってしまったので、せめて元の時間に戻してほしい。今年は夏のプールでバスを出してもらったのでとてもよかったです。

放課後の時間を作り出したことで、子供達のゆとりが生まれ、学校に残って友だちと過ごしたり、自分のやりたい勉強に取り組んだり姿が見られるようになりました。朝の集団登校については、町別児童集会などで8:00をめどに登校するように指導しています。約束を守るように教職員も地域委員さんも根気強く指導を続けています。他の学校に比べ、高雄小学校の登校時間は早く設定されています。その理由について、学校運営協議会で次のようなことを教えていただきました。かつて「誰でもがPTA地域委員としての役割を果たすことができる登校時間を設定しよう」と話し合われ、現在のような時間が設定されたそうです。これも学校・保護者・地域で子供達を見守るのだという取組の一つですね。夏のプールのバスは子供達の学習時間を補償するのにとても役立ちました。来年度以降は元の形に戻りますが、有意義な水泳学習を実現できるよう工夫したいと思います。

いじめ対策はされていますか。わが子はいじめもなく学校生活を送っているようですが、いじめを苦しめた自殺の報道があるたびに、高雄はどうなんだろうと思います。報道を見るといじめが表面化する前に対策することが一番重要なんだと感じます。子どもと先生だけの面談や、誰にも見られずに済むような形式でのアンケートなど、やるべきことはあると思いますが…

新聞紙上などで、いじめに関する報道がされるたびに心を痛めています。いじめはどこでも起こりうるのだということを再認識して、学校経営に取り組んでいます。ご意見のように、子供達の声なき声を知るために、アンケートも実施し、その分析結果を学級経営にいかす取組も続けています。

一番大切なことは、いじめを見逃さないこと、いじめを見過ごさないこと、いじめを許さないことであると考えます。いじめられた子はもちろんのこと、いじめる側の子にとっても、後悔するようなことが絶対にあってはならないことなのだと考えています。

そこで、私たちは、普段から、いじめを見逃さない子供の観察と複数の目で子供達をよく見ることを心がけ、いじめの早期発見・解決につなげています。

学校で起こったことの報告や連絡が十分でないと感じることがあります。子どもの報告だけで不十分な際は、保護者は学校に不信感と無責任さを感じてしまうのではないのでしょうか。

保護者の皆さんへの連絡が不十分なために、ご家庭に不安を持たせてしまいましたことを反省し、今後、一層、報告・連絡を必要に応じて励行していきたくと思います。連絡につきましては、学級通信やお電話で連絡することもあります。内容によっては、ご家庭におうかがいしたり学校にお越しいただいたりして、顔を合わせてお話しすることもあります。そうすることで、子供達がいきいきと学校生活に取り組めると考えるからです。いただいたお声を大切にして、さらに保護者の皆さんとの連携を深めることができるよう努力していきたくと思います。

運動習慣をつけさせたいのですが、部活動の種類が少なすぎます。もう少し増やせるよう検討をぜひお願いします。

現在、高雄小学校では、陸上・バレーボール・サッカー・お琴・お茶の部活動を行っています。すべての教員が部活動の指導にあたり、また、地域の方々の応援もいただきながら活動を進めています。

京都市の小学校部活動は、スポーツや芸術文化活動の楽しさを知り、個性の伸長、自発、自主、実践態度を育てるための活動として、平成14年度から開始した京都市独自の取組です。運動部活動については、「体育などの授業で学習した内容を発展させ、スポーツの楽しさを味わわせる」ことを目的としており、原則として平日の放課後の時間の中で活動を進めています。そのため、中学校や高校などの部活動とは少し違う活動となっています。

ただ、小規模校であるために子供達の人数が整わなかつたりして、他校との交流などがうまくできていないこともあります。また、中学校に運動系の部活動が少ないことについてのお声も頂戴しています。そのあたりにつき、小中連携会や学校運営協議会でも話し合いを進め、子供達のニーズに合う部活動に近づけていくことができるように検討しています。それぞれの意見によいところもあれば、乗り越えていかなければならない問題もあり、早急に結論を出すことはできにくい状況です。部活動についても、できる限りのことを考え実現していく所存です。

文責 高雄小学校教頭 森 雄一